



青森市民病院

AOMORI CITY HOSPITAL

2025年9月発行

…診療科のご紹介…

糖尿病・内分泌内科

診療科の概要

糖尿病をはじめとする内分泌代謝疾患を中心とした内科診療を行っています。

外来診療では、血糖とHbA1cを迅速測定し、過去のデータと一緒にグラフ化して患者さんに示し治療のアドバイスをを行っています。最近では、最新の肥満症治療にも取り組んでいます。

入院診療では、重症および急性期の診療、糖尿病教育のいずれにも対応しております。日本糖尿病学会認定教育施設に指定されており、糖尿病専門医を中心に、看護師・栄養士・薬剤師・臨床検査技師などとチーム医療で糖尿病の診療に取り組んでいます。糖尿病性昏睡や進行した合併症、重症感染症の診療も、一般病棟の他ICU・HCUも活用し、積極的に診療しています。

甲状腺・脳下垂体・副腎などの内分泌疾患に対しても、急性期および慢性期の入院・外来診療を行っています。脳梗塞の急性期診療および基礎疾患に対する治療を、脳神経外科・リハビリテーション科などとの協力のもと、多数取り組んでいます。

外来診療担当医師

	月	火	水	木	金
8:00~ 11:30	村林 高安 阿部	村林 三上 田中	村林 三上 阿部	村林 田中	阿部 三上 田中

医師のご紹介

たなか ひかる
部長 田中 光

①資格

日本内科学会総合内科専門医、
日本消化器病学会専門医、
日本糖尿病学会専門医、
日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医、
医学博士

②自己PR

救急患者・緊急の紹介患者を可能な限り受け入れられるよう、当科の診療体制を整えています。
若い先生方の気持ちを理解するために、現在の立場・年齢になっても月2回の当直勤務を続けています。

③診療で心がけていること

患者さんのことを第一に考え、迅速かつ的確な診療を心がけています。

④地域の先生方へひとこと

青森市民病院に勤務して12年になりました。
今後も地域における当科の役割をしっかりと果たせるよう努めて参りますので、ご協力のほどお願いいたします。

むらばやし まさや
部長 村林 公哉

- ①日本糖尿病学会糖尿病専門医、
日本内科学会認定内科医、医学博士
- ②2022年1月から青森市民病院に勤務し4年目になりました。これからも故郷である青森市の医療を支えていきます。
- ③丁寧な対応
- ④お気軽にご相談ください。

あべ たかひろ
医師 阿部 高大

- ②明るさと体力が取り柄です。
- ③「時に癒し、しばしば支え、常に慰む」の精神です。
- ④若輩者ですが精一杯頑張ります。
よろしくお願いします。

みかみ かなた
医師 三上 雄大

- ②鈍足ですが走ります。
- ③目線を合わせる。
- ④地域住民の健康を支えてくださり心から感謝しています。

ご連絡はこちらへ
(地域医療連携室)

☎ 017-734-2171(内線7124・5110)

☎ 017-734-2177

✉ a-shimin-renkei@aomori-city-hospital.jp

慢性疾患および急性期疾患糖尿病教育から重症合併症まで

幅広く対応可能な外来・救急・入院診療

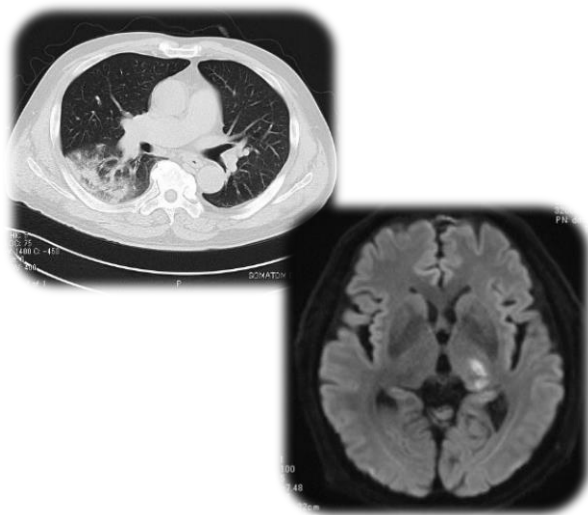
外来では、糖尿病をはじめとする生活習慣病および内分泌疾患の診療に携わります。糖尿病の合併症に関して、院内の他診療科と連携し、迅速かつ多角的な診療を行っています。この3年間の1日あたり平均外来患者数は、R4年度は96.4名、R5年度は85.3名、R6年度は92.1名でした。

さらに、当科は脳梗塞をはじめとした内科救急診療にも多く携わります。この3年間の当科救急車受け入れ台数はR4年度は473件、R5年度は645件、R6年度は587件で、いずれも院内では整形外科に次ぐ2番目の多さでした。

当科の入院症例は、糖尿病コントロールおよび合併症の進行例を中心に、感染症・内分泌疾患・脳梗塞症例も多く担当しています。この3年間の1日あたり平均入院患者数はR4年度は31.6名、R5年度は35.7名、R6年度は35.0名で、症例の内訳は別表の如くでした。

直近3年間の当科入院症例

脳梗塞	311例
糖尿病教育・コントロール	255例
糖尿病合併症	234例
肺炎	199例
その他感染症	196例
内分泌疾患	53例
悪性腫瘍	39例
神経疾患	35例
敗血症	24例
低血糖	22例
その他の疾患	229例



専攻医・研修医・医学生の教育の場として

当院は臨床研修病院であり、当科でも内科の必修診療科として1年次の必修および2年次の選択研修の受け入れを行っています。

また、弘前大学医学部5年生および6年生の実習医療機関として、医学生の実習も受け入れられています。

さらに、日本糖尿病学会認定教育施設および日本内科学会教育関連病院として、専攻医を教育する役割も担います。

若い先生方と診療を行うことで、指導医も共に学び成長していく姿勢を大事にしています。

～研修医の声～

青森市民病院糖尿病内分泌内科では、外来新患患者の問診および診察、救急搬送例への初期対応、入院患者への各種処置や指導など、指導医の先生の管理のもと、数多くの経験を積むことができます。

患者さんと接する機会や経験できる症例も豊富で、研修内容が充実しており、ここで研修できて本当に良かったと思います